

# 青山コウヘイ

事務所ニュース

No.13 2017年8月13日



大会会場の長崎市公会堂の前で

解散・総選挙に追い込み、みんなの力で新しい政府を作るため、全力で頑張ります。

今回の大会は、このような状況の下で行われ、被爆者の方からも、各地の代表からも、核兵器禁止条約に参加する「新しい政府を作る」という言葉が繰り返し出されてきたのがとても印象的でした。

**青山コウヘイ東京4区雇用と生活対策室長**  
戦後、被爆者を先頭に続いた日本での原水爆禁止運動は、世界の大きな変化と重なり、ついに今年7月の核兵器禁止条約に

8月7日～9日、原水爆禁止2017年世界大会・長崎が行われ、9日の閉会総会には国内外から7千人が集まりました。22人の大田区代表団の一員として、青山コウヘイ東京4区雇用と生活対策室長が参加しました。

そのもとで、原子爆弾がいかにも恐ろしいものかを誰よりも知る日本の政府が、条約に背を向けていることは恥ずかしい限りです。被爆者の方が安倍首相に、「この国の総理ですか」という怒りをぶつけられました。核兵器がどれだけ被爆者を苦しめてきたか、その想像力も持たず、国民の声に耳を傾けない首相は必要ありません。

**被爆者の声に耳を傾けない  
総理はいらない！**  
実りました。

## 青山コウヘイ プロフィール

日本共産党、衆議院東京第4区(大田区の中南部)雇用と生活対策室長。1991年(平成3年)生まれ。現在26才。静岡県沼津市出身。中央大学法学部卒業。全日本学生自治会総連合(全学連)書記局、首都圏学生9条の会ネットワーク事務局などで活動。

一部の人の利益のために、大多数の人たちが苦しめられる政治を終わらせ、日本国憲法を守り生かし、若者が希望を持って暮らせる社会へ変えるため、日々奮闘中。



左から、藤田りょうこ都議、青山コウヘイ、笠井亮衆議院議員、原純子・元国会議員秘書

(8月4日、蒲田駅東口の街頭演説で)

# 東京4区から青山コウヘイさんを国政へ

## 都議会議員 藤田りょうこ



街頭で訴える藤田都議（右）と青山コウヘイ（左）  
（8月4日、蒲田駅東口の街頭演説で）

コウヘイさんとはじめて会ったのは、昨年6月。彼が大田区に来て2か月目の時でした。中央大学で学ぶために18歳で沼津から上京し、卒業後は日本共産党へ就職。そして候補者になった24歳で大田区に引っ越し。知り合いもない、右も左もわからない土地に、よくやってきたなあという思いでした。

原稿を作るので、いつでもだれにでもわかりやすい演説です。隣で聞いている私は毎回感心していました。演説の後は、聞いてくださった方に二人で駆け寄って次々握手！フットワークが軽いのも、若い証拠。私も負けじと走りまわりました(笑)。

そんなコウヘイさんも、この地域にはどんな特徴があるのか、この方はどんな環境で暮らしてこられたのかなど、状況に合わせて話すのはとても苦勞されたのではないかと思います。しかしコウヘイさん、対話する中では必ず「それはどういうことですか？」と、わからないことをきちんと確認。しっかりと相手の話に耳を傾けているので、みるみるうちに成長されました。

今回の都議選では自分の選挙のようには訴えきつていただきました。次はコウヘイさんの番です！そのスポンジのような吸収力と、たくましい優しさを持つコウヘイさんを、何としても国会に押し上げましょう！



### 《コウヘイ くらむcolumn》

私は学生の時、「さだまさし研究会」というサークルに所属していました。私が入会した時は活動に来るメンバーは他に3人ほどでしたが、途中からメンバーが増え続け、今では40人ほどになっていると聞いています！

活動は研究というよりは、たまに飲みに行く感じのサークルでしたが、個性的なメンバーたちで話すのがとても楽しいサークルでした。

また、毎年さださんの曲をバンドを組んで演奏し、私はドラムやベースを担当しました。  
(青山コウヘイ)



### 青山コウヘイの25年⑬



小学校の卒業式で、卒業証書を受け取るコウヘイ（左）

コウヘイは小学6年生になり社会科で憲法を学ぶと、憲法前文を何度も読み、すらすら暗記して覚えていました。

憲法前文にある「国民主権・国際協調・平和主義」が書かれた内容に、深く興味を持ち始めたようでした。

将来の夢を「人の役に立つ人間になりたい」と話していました。が、世の中のために自分のできる事はないかと自分なりに考え、今のコウヘイがあるのかと思います。  
(母)